

事業番号	11 05 04	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検		
事業名	流域治水対策に関する事業	部局	建設部	課・室	河川課	
		実施期間	R3 ~ R7	E-mail	kasen@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	4-1 県土の強靱化					

### 1 現状と課題

目指す姿	令和元年東日本台風により大きな被害を受けた長野県としては、被害軽減のため、流域対策として雨水貯留施設の整備拡充を図る。	
これまでの取組	令和2年6月、国土交通省は、昨今の頻発する洪水被害を受け、「治水」の方針を「流域治水」へ転換し、全水系において「流域治水プロジェクト」を策定、「流域治水」の取組を推進することとした。このことから、長野県としても県内全域で取組を推進することとし、流域治水の広報や雨水貯留施設整備を推進する。	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	「流域における取組」は、市町村や民間事業者、県民が一体となり、協働して取り組む必要があるが、「流域治水」の意識が浸透しておらず、取組みが不十分な状況。	県が率先して取り組みを行い、情報を発信することにより、市町村や県民の取組を促す。

### 2 令和4年度事業内容

予算のポイント ・ 主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓雨水貯留タンクの設置 流域に降った雨を直接河川に流すのではなく、県有施設の屋根等の降った雨を貯留するため、雨樋下に雨水を貯留するタンク等を設置する。</li> <li>✓流域治水事業に係る普及啓発 流域治水の取り組みを普及するため、啓発番組等の作成、シンポジウム等を行う。</li> </ul>
	   
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	【学びの県づくり】流域治水の啓発のため、テレビCM・ミニ番組の放送(継続)、流域治水シンポジウム(天竜川流域)を国交省等と連携して開催する。

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]								区分(単位:千円)						
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値	R2年度		R3年度		R4年度	
1	雨水タンクの設置	箇所	-	-	-	-	88	98	前年度繰越		0	0		
2									当初予算		0	22,467	要求	23,617
3									補正予算		0	0	予算案	-
4									合計(A)		0	22,467	要求	23,617
5									うち一般財源		0	22,467	要求	4,617
									決算額(B)		0		予算案	-
									職員数(人)		0.0	0.6	0.6	
設定理由	成果指標	1.流域治水の取り組みに加え、地域住民への災害に対する危機意識の向上の指標として設定した。												
	目標値	1.長野県流域治水推進計画では、R3から5年間で県有施設における雨水貯留浸透施設の設置は439箇所を目標としている。そのため、R4年度は約1/4である98箇所を目標とする。												

事業番号	11 05 04	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input checked="" type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検		
事業名	流域治水対策に関する事業		部局	建設部	課・室	河川課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
1	流域治水推進事業	0 千円	22,467 千円	要求 23,617 予算案 - 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	雨水貯留タンク設置事業	直接	流域に降った雨を直接河川に流すのではなく、一旦「貯留」することにより河川の負担を軽減させる「雨水貯留施設の設置推進」として、雨水貯留タンクを設置する。(93箇所)		
2	流域治水事業に係る普及啓発事業	委託	民間事業者・県民に対しての普及啓発を継続して行うことで、「流域治水」の重要性を周知し、雨水貯留等の取組み推進につなげる。 テレビCM・ミニ番組の放送(継続)、流域治水シンポジウム(天竜川流域)を国交省等と連携して開催をする。		